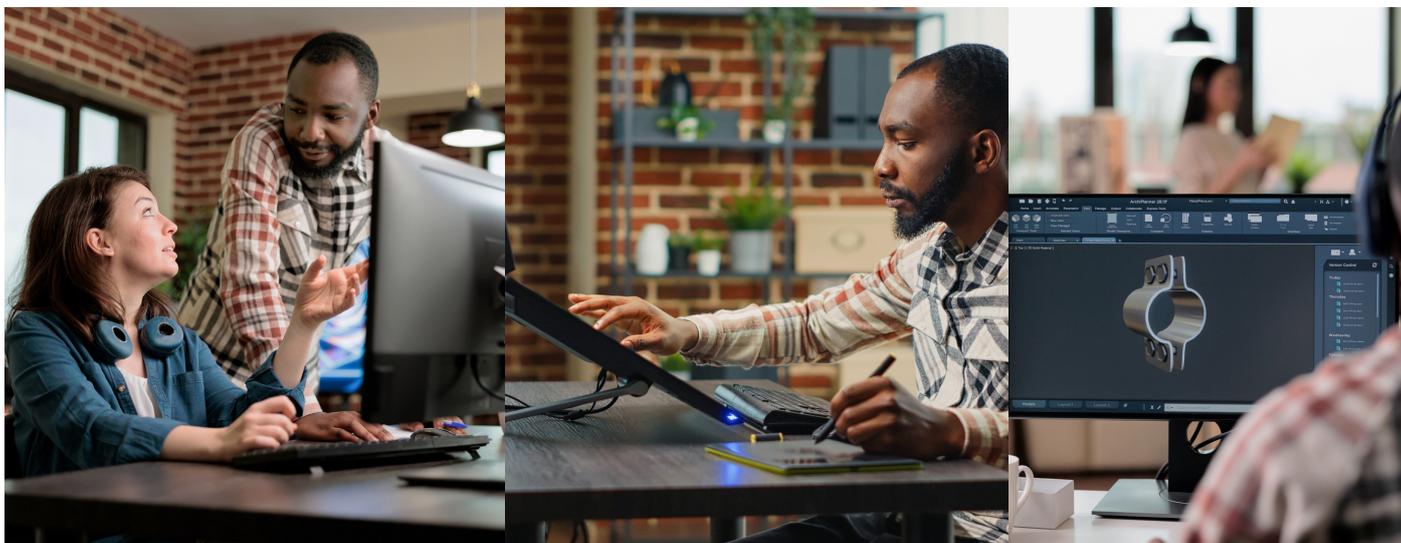


# 企業のイノベーションが老朽化したサーバーに阻まれないために

テクノロジーの変化のペースは加速しています。HPE ProLiant Compute ソリューションによるモダナイゼーションを今すぐ実現し、パフォーマンス、効率、セキュリティをさらに向上させましょう。



テクノロジーは目まぐるしいスピードで進歩し続けていますが、変化しない事実が1つあります。それは、競争相手よりも迅速かつ効率的にイノベーションを実現する組織が勝利するということです。しかし、高度なイノベーションを達成するには、ビジネスリーダーが慣習を破り、思い切った選択をしなければならない場合もあります。

同時に、IT部門への要求はかつてないほど増大しています。技術チームは、日常のデジタル業務が大半を占める非AIワークロードを、より高いパフォーマンスと早いペースでサポートしながら、AI主導の企業からの増え続けるコンピューティングニーズに対応することが求められています。また、組織のサステナビリティ目標を達成しながら、現在または予測されるニーズをできるだけコスト効率の高い方法で満たすことが期待されています。

これらの成果を達成するには、インフラストラクチャの迅速なモダナイゼーションに重点を置いたアプローチが必要です。従来の3~5年のハードウェア入れ替えサイクルは、企業にとって何十年にもわたり有効に機能してきました。しかし現在は、より頻繁なモダナイゼーションに取り組むメリットがコストを大幅に上回る時代です。

簡単に言えば、旧式の複数世代にわたるサーバーでは、最新のワークロードのパフォーマンス要求に対応することは困難になっています。さらに、これらの老朽化したシステムは管理が困難で、運用コストも高くなる可能性があります。エネルギー効率も低く、最新のHPE ProLiant Gen11およびProLiant Gen12 Computeサーバーであれば提供される、将来を見据えたセキュリティ機能も備えていません。

老朽化したインフラストラクチャはまだ動作するかもしれませんが、それはどのくらい長く、そして収益にどのような追加的な影響を及ぼすでしょうか。入れ替えサイクルを加速すれば、企業の成功に最も重要な領域で遅れをとることがなくなります。



## 要求の厳しいワークロードとAI主導のユースケースで優れたパフォーマンスを実現

サーバーを選択する際に、パフォーマンスが常に主要な考慮事項でしたが、卓越した実行能力がより速く、より良い結果をもたらす時代において、その重要性はさらに増えています。2030年までにデータセンター容量の需要は最大27%増加し、そのうちのおよそ3分の1をAIワークロードが占めると予想されています<sup>1</sup>。さらに、VDIの継続的な需要とAIワークロードの急増や、エッジでの推論の必要性により、パフォーマンスにおけるスピードはこれまで以上に重要になっています。

HPE ProLiant Gen11サーバーは、業界で認められたベンチマークで、コンピュート多用型ワークロードの3件を含む、60件のパフォーマンス記録を達成しています<sup>2</sup>。AI推論ベンチマークで複数の世界記録を保持しているHPE ProLiant Computeはさらに強力で、低遅延通信を実現しており<sup>3</sup>、CPUあたりのコア数がGen11の約2.5倍であるIntel® Xeon® 6プロセッサを搭載しています。HPE ProLiant Compute Gen12は、より多くのGPUをサポートしており、さまざまなAIワークロードを支えるまさに優れた選択肢です。

## HPE Compute Ops Managementにより分散コンピューティング環境全体の管理を簡素化

テクノロジーのポートフォリオがより複雑かつ分散的になるにつれ、複数の資産を管理することが、ITチームにとって非常に大きな課題になる可能性があります。しかし、HPE ProLiant Gen11とHPE ProLiant Compute Gen12のどちらにも、コアからエッジまでのサーバーライフサイクル業務を簡素化および自動化する、安全なクラウドベースの管理ソリューションであるHPE for Compute Ops Managementが搭載されています。

HPE Compute Ops Managementは組織全体の可視性を拡張し、技術チームがAI主導のインサイトを活用して、機能停止や高コストな復旧作業が発生する前に積極的に問題に対処できるようにします。さらに、自動化機能により、ファームウェアの更新を従来の方法よりも最大5倍速く実行できます<sup>4</sup>。この統合管理プラットフォームにより、サーバー1台あたり年間最大5時間のダウンタイムを防止でき、リモートサーバーの管理にかかる時間を最大75%削減できます<sup>5</sup>。

## ますます安全性が低下している世界で、安全なコンピューティングを推進

セキュリティ脅威は年々増加し、ますます巧妙化しています。2025年の第1四半期には、サイバー攻撃が47%急増し、あらゆる業界の組織に対して、毎週平均2,000件近くの攻撃が発生しました<sup>6</sup>。

攻撃者がAIを利用して貴重なデータを侵害する新しい方法を生み出し、国家レベルの攻撃者がデジタルサプライチェーンに対して攻撃を続けていることから、企業は自社と顧客を保護するためにさらなる対策を講じる必要があります。

HPE ProLiant Compute Gen12サーバーは、HPE Integrated Lights-Out (iLO) 7を搭載しています。この革新的なテクノロジーは、サーバーの暗号化キーをより安全に保存するためのセキュアエンクレープによる多層防御を提供し、工場出荷時からデータセンターのラックに至るまでの改ざんを防止します。セキュリティに関する差別化要因としては、物理的な侵入およびデジタル侵入に対する耐性を強化するFIPS 140-3レベル3の要件を満たしていることがさらに挙げられます<sup>7</sup>。ポスト量子暗号 (PQC) アルゴリズムを活用するNISTおよびCNSA 2.0の量子耐性要件をサポートし、ファームウェアの署名を将来の量子コンピューティング攻撃から保護することで、将来のセキュリティ脅威への対応を確実にするのに役立ちます。

当社のゼロトラスト アーキテクチャーは、HPE Synergyソフトウェア デファインド インフラストラクチャのキーコンポーネントであるHPEパートナーエコシステム内の一部のネットワークコントローラーとストレージコントローラーにも拡張されています。

## 電力を大量消費するワークロード向けにサステナブルITを推進

AIを動かすために必要なデータセンターのエネルギー量は、2027年までに50%、2020年代末には165%増加すると見込まれています<sup>8</sup>。サーバーの効率化はコスト削減の大きな源となるだけでなく、サステナビリティ目標の達成を目指す企業にとって、ますます重要な考慮事項となります。

<sup>1</sup> AI power: Expanding data center capacity to meet growing demand, McKinsey & Co., Oct. 29, 2024.

<sup>2</sup> 60 world records for performance and efficiency with HPE ProLiant, HPE, 2024.

<sup>3</sup> HPE ProLiant DL380 Gen11 vs. Gen12 Comparison — What's the Difference?, server-parts.eu, Feb. 15, 2025.

<sup>4</sup> New Technology: The Projected Total Economic Impact of HPE Compute Ops Management, Forrester Research, June 2024.

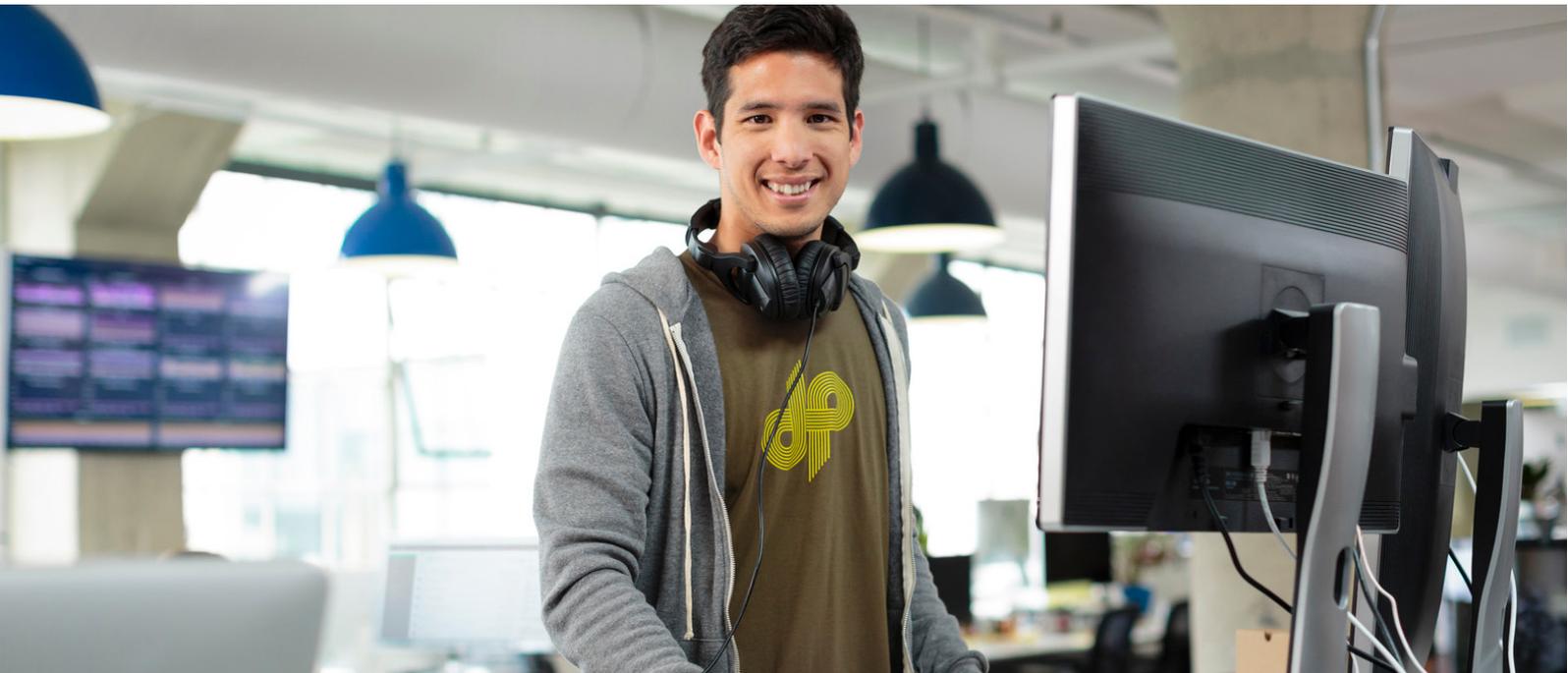
<sup>5</sup> Ibid.

<sup>6</sup> Q1 2025 Global Cyber Attack Report from Check Point Software: An Almost 50% Surge in Cyber Threats Worldwide, with a Rise of 126% in Ransomware Attacks, Check Point Research, April 16, 2025.

<sup>7</sup> Currently pursuing certification for FIPS 140-3 Level 3.

<sup>8</sup> AI to drive 165% increase in data center power demand by 2030, Goldman Sachs, Feb. 4, 2025.





HPEには、サステナブルITの取り組みを積極的に推進するために役立つ、実証済みの機能が数多くあります。HPE Compute Ops Managementを使用すると、持続可能性レポートを通じて、サーバー環境全体のカーボンフットプリント排出量と推定エネルギー消費量のメトリックを参照できるほか、個々のHPE ProLiantサーバーのコストを確認することもできます。HPE Power Advisorを使用すると、企業は注文前の段階でも、HPE製品の予想されるカーボンフットプリントを判断できます。さらに、最新のProLiant Gen11およびGen12システムの多くは直接液体冷却オプションを提供しており、冷却に必要な電力を5分の1に削減できます。これは、10,000台のサーバーを備えたデータファームの場合、年間約200万ドルの削減につながります<sup>9</sup>。

このような進歩により、時代遅れのサーバーを、より少なく、より強力でエネルギー効率の高いマシンに置き換えることが可能となりました。たとえば、HPE ProLiant Compute Gen12は1台で7台分のGen10システムの代わりとなるため、ワットあたりのパフォーマンスが約40%向上し、年間の総電力消費量を65%削減できます<sup>10</sup>。古いシステムの場合はさらに劇的な節約効果が見られます。ProLiant Gen8およびGen9サーバーにおけるサーバーフットプリントのコンソリデーション比率は、それぞれ26:1と14:1です<sup>11</sup>。

## イノベーションのスピードで活動

変化の激しい時代において、市場投入までの時間を短縮することはこれまで以上に重要です。

企業によってはすでに、テクノロジーインフラストラクチャの改善に数十億ドルを投資しています。これは、ITインフラストラクチャのモダナイゼーションにより、ビジネスでより多くのことをより速く、より効率的に、より低コストで実現できることにつながるためです。最新のアプリケーションとユースケースを最も効率的に動かす能力を備えた最新のテクノロジー環境により、ビジネスリーダーは、数週間、数か月、数年かかっていた新しい戦略の実装を、数日で開始できるようになります。

古いハードウェアが原因で潜在的な投資収益を十分に得られないという事態は、回避することができます。HPE ProLiantサーバーで、必要なパフォーマンス、スピード、セキュリティを手に入れてください。

<sup>9</sup> [Liquid cooling solutions for HPE ProLiant Compute servers](#), HPE, 2025.

<sup>10</sup> [The Sustainability Impact of HPE ProLiant Compute Gen12 Servers](#), Enterprise Strategy Group, February 2025.

<sup>11</sup> Ibid.

## 詳細はこちら

<https://www.hpe.com/jp/ja/hpe-proliant-servers.html>

HPE.comにアクセス 

 **今すぐチャット**